

(記載例)

様式第2号(第3条第1項、第4条第1項関係)

新規	変更	富道交	第	号
		年	月	日

法定外公共物工事施行承認申請書

〇年△月□日

管理者 富田林市長 様

〒 584-0000

申請者 住所 富田林市〇〇町〇〇番〇〇号

氏名 富田 太郎

担当者 △△設計事務所 富林

電話 \*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

法定外公共物の敷地において、工事を行いたいので、富田林市法定外公共物管理条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

施工目的	舗装工事		
施工場所	種別	1. 里道敷 2. 水路敷 3. その他( )	
	場所	(自) 富田林市〇〇町〇〇番 (至) 富田林市	
工事概要	工事種別	施工数量	
	舗装復旧	幅 m×延長 m	
工事の期間	年 月 日から 年 月 日まで( 日間)		
施工方法	直営	住所	富田林市〇〇町〇〇番〇〇号
	・ 請負	施工業者	業者名 〇〇〇建設株式会社 担当者 凸凹工事事務所長 富田一郎 連絡先 **-****-****
添付書類	位置図・地籍図の写し・登記事項証明書・境界確定図の写し・現況平面図及び現況縦横断面図・求積図・工作物構造図・計画平面図及び計画縦横断面図・現況写真・設計書又は仕様書・利害関係人の同意書・関係協議書		備考

記載要領

- |    |    |
|----|----|
| 新規 | 変更 |
|----|----|

は、該当するものを○で囲み、変更の場合には、従前の許可書の番号及び年月日を記載すること。
- 申請者が法人である場合には、「住所」の欄に主たる事業所の所在地、「氏名」の欄に名称及び工事責任者の氏名を記載すること。「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。
- 「施工場所」の欄には、隣接する住所地番を記載すること。施工区間が2以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。「里道敷・水路敷・その他」については該当するものを○で囲み、「その他」の場合には、その種別を記載すること。
- 「工事概要」の欄には、「工事種別」として具体的な工事内容を、「施工数量」として延長、面積等の施工規模を記入すること。
- 「工事の期間」の欄には、工事完了までの期間を記載すること。仮移設等を含む場合は復旧までの期間を含めて記載すること。
- 「施工方法」欄は「直営」、「請負」の該当するものを○で囲み、施工業者を記載すること。施工業者が未定の場合には、その旨記載すること。また、その時には工事着手までに報告すること。
- 変更の許可申請にあつては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを( )書きすること。
- 「添付書類」の欄には、工事施行の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。

様式第3号 (第3条第2項関係)

## 法定外公共物 (占有・施工) 同意書

○年△月□日

管 理 者

富 田 林 市 長 様

(同意者)

住所 富田林市○○町○○番○○号

氏名又 ○○町総代

は名称 △△ □□

下記地番先の法定外公共物 (里道敷・水路敷・その他) において、別紙図面のとおり、(占有・施工) することについて同意する。

### 記

1 工事場所 富田林市 ○ ○ 町 ○ ○ 番 地 先

2 内容・数量

3 申請者 住所 富田林市○○町○○番○○号  
氏名又 富田 太郎  
は名称

- 記入注意
1. 不用となる語句は抹消すること。
  2. 同意を必要とする利害関係の団体代表者は原則として、明示立会の団体代表者であり、その代表者の記名もしくは署名であること。  
なお、その団体が解散した場合は、それに替わる団体とすることもある。

様式第4号 (第3条第2項関係)

## 関係協議書

工事場所 \_\_\_\_\_ 富田林市〇〇町〇〇番

### 協議内容

協議機関名	意見	協議担当者名

工事完了届

年 月 日

管理者 富田林市長 様

〒  
住所 富田林市〇〇町〇〇番〇〇号

氏名 富田 太郎

〇〇年△月□日付け富道交第1-〇〇号で許可・承認のあった次の工事は、  
〇〇年△月□日に完了しましたので届けます。

工事内容	舗装工事		
工事場所	種別	1 里道敷      2 水路敷      3 その他( )	
	富田林市	〇〇町〇〇番	先から 先まで
許可・承認 の工事期間	年      月      日から      年      月      日		
その他の事項			
連絡先			
<p>&lt;工事完了写真&gt;</p> <p>(貼り付ける)</p>			